



TITLE:

表紙・編集委員会・目次・投稿規定・奥付・裏表紙

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集委員会・目次・投稿規定・奥付・裏表紙. 東南アジア研究
2018, 55(2)

ISSUE DATE:

2018-01-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/229078>

RIGHT:

©京都大学東南アジア地域研究研究所 2018

Print ISSN 0563-8682
Online ISSN 2424-1377

東南アジア研究

**Japanese Journal of
Southeast Asian Studies**

Vol.55 No.2

和文編集委員会

石川 登 (委員長)
小林 知
竹田 晋也
中西 嘉宏
西 芳実
三重野 文晴
設楽 成実

Japanese Board of Editors

ISHIKAWA Noboru (Editor)
KOBAYASHI Satoru
TAKEDA Shinya
NAKANISHI Yoshihiro
NISHI Yoshimi
MIENO Fumiharu
SHITARA Narumi

〈特集〉編集責任者

岡本 正明
林田 秀樹

Special Editors for *Political Economy*

OKAMOTO Masaaki
HAYASHIDA Hideki

COPYRIGHT © 2018 By Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University.

All Rights Reserved

Print ISSN 0563-8682
Online ISSN 2424-1377

東南アジア研究

55巻2号

2018年1月

目次

インドネシアにおけるパロロ群泳・天体周期と在来暦法の特徴	五十嵐 忠 孝..... (111)
ポルトガル領ティモールにおける19世紀後半から20世紀初頭の 宣教テキストのテトゥン語訳 ——西洋中心主義的「誤訳」とその社会的・学問的影響——	土 屋 喜 生..... (139)

〈特集〉アブラヤシ農園拡大の政治経済学 ——アクター、言説、制度の視点から——

序	岡 本 正 明, 林 田 秀 樹..... (169)
アグリビジネスのグローバル化とパーム油産業の構造変化 ——「パーム油開発先進国」マレーシアを中心に——	岩 佐 和 幸..... (180)
もう一つの油戦争 ——不健康なパーム油という言説, その対抗言説の誕生と発展——	岡 本 正 明..... (217)
インドネシアにおける農園事業許可法令の変遷	永 田 淳 嗣, 小 泉 佑 介..... (240)
インドネシア共和国におけるPIR (Perusahaan Inti Rakyat) 方式の変遷	河 合 真 之..... (256)
インドネシア国営アブラヤシ農園におけるプラスマ農園の再植 ——西カリマンタン州サンガウ県の事例から——	林 田 秀 樹..... (292)
焼畑民によるアブラヤシ農園開発の受容 ——インドネシア東カリマンタン州・ベシ村を事例として——	寺 内 大 左..... (320)
ホワイトカラー農民の出現 ——タイ南部のアブラヤシ栽培と人々の生活世界——	藤 田 渡..... (346)
分析レポート: 株式会社定款の変遷にみるインドネシアのアブラヤシ農園企業 ——20世紀末までの展開——	加 納 啓 良..... (367)

書 評

- 津村文彦. 『東北タイにおける精霊と呪術師の人類学』
めこん, 2015, 309p. …………… 川 田 牧 人…… (400)
- 矢野秀武. 『国家と上座仏教——タイの政教関係』
北海道大学出版会, 2017, 418p. …………… 藏 本 龍 介…… (402)
- 長田紀之. 『胎動する国境——英領ビルマの移民問題と都市統治』
山川出版社, 2016, 264p. …………… 直 野 温 子…… (405)
- 佐藤奈穂. 『カンボジア農村に暮らすメマーイ——貧困に陥らない社会の仕組み』
京都大学学術出版会, 2017, v+249p. …………… 平野 (野元) 美佐…… (408)
- 松林尚志. 『消えゆく熱帯雨林の野生動物
——絶滅危惧動物の知られざる生態と保全への道』
化学同人, 2015, 204p. …………… 中 島 啓 裕…… (410)
- 宮脇千絵. 『装いの民族誌——中国雲南省モンの「民族衣装」をめぐる実践』
風響社, 2017, 372p. …………… 佐 藤 若 菜…… (412)
- 55 巻総索引 | …………… (415)

JAPANESE JOURNAL OF SOUTHEAST ASIAN STUDIES

Vol. 55, No. 2

January 2018

CONTENTS

IGARASHI Tadataka	Palolo Swarming, Celestial Cycles, and Indigenous Calendrical Systems in Indonesia(111)
TSUCHIYA Kisho	Missionary Local Language Texts in Portuguese Timor from the Late 19th to the Early 20th Century: Europe-Centric Mistranslation and Its Social and Intellectual Impacts(139)

Political Economy of Oil Palm Plantation Expansion: Actors, Discourse, and Institutions

OKAMOTO Masaaki HAYASHIDA Hideki	Introduction(169)
IWASA Kazuyuki	Globalization of Agribusinesses and Structural Change in the Palm Oil Industry: With Special Reference to Malaysia as a Leading Country in Palm Oil Development(180)
OKAMOTO Masaaki	Another “Oil War”: The Birth and Development of Unhealthy Palm Oil Discourse and Its Counterdiscourse(217)
NAGATA Junji KOIZUMI Yusuke	Historical Shift in Regulations on Plantation Business Permits in Indonesia(240)
KAWAI Masayuki	Transition of PIR (Perusahaan Inti Rakyat) Scheme in Indonesia(256)
HAYASHIDA Hideki	The Replanting Problems of Plasma Estates in the Indonesian State-Owned Oil Palm Estate: A Case in Sanggau Regency, West Kalimantan Province(292)
TERAUCHI Daisuke	How Accepting Are Swiddeners of Oil Palm Plantation Developments? Based on Evidence from Besiq Village, Indonesia’s Province of East Kalimantan.....(320)
FUJITA Wataru	White-Collar Farmers: Oil Palm Cultivation and the Living World in a Southern Thai Village.....(346)
KANO Hiroyoshi	Analysis Report Oil Palm Plantation Enterprises in Indonesia: Observed from Data on Amendment of Their Corporate Charters until the End of the 20th Century.....(367)

Book Reviews

KAWADA Makito	Tsumura Fumihiko. <i>Anthropology on Spirits and Magical Specialists in Northeastern Thailand</i> . Tokyo: Mekong Publishing, 2015, 309p.(400)
KURAMOTO Ryosuke	Yano Hidetake. <i>State and Theravada Buddhism: The Relation between Religion and the State in Thailand</i> . Sapporo: Hokkaido University Press, 2017, 418p.(402)
NAONO Atsuko	Osada Noriyuki. <i>The Border in Embryo: Immigration and Urban Governance in Colonial Rangoon</i> . Tokyo: Yamakawa-Shuppansha, 2016, 264p.(405)
HIRANO-NOMOTO Misa	Sato Nao. “Memay” Widows Living in Rural Cambodia: <i>The Social System Preventing from Poverty</i> . Kyoto: Kyoto University Press, 2017, v+249p.(408)
NAKASHIMA Yoshihiro	Matsubayashi Hisashi. <i>Vanishing Wildlife in Tropical Rainforests: Ecology and Conservation of the Endangered Species</i> . Kyoto: Kagaku-Dojin, 2015, 204p.(410)
SATO Wakana	Miyawaki Chie. <i>Ethnography of Dress: Practices Related to “Ethnic Dress” among the Hmong in Yunnan, China</i> . Tokyo: Fukyosha Publishing, 2017, 372p.(412)
Index to Vol. 55(415)

『東南アジア研究』日本語原稿投稿規程

- 1) 投稿原稿は、東南アジア地域研究に寄与するものとする。
- 2) 投稿原稿は、レフェリー制度を通じて掲載の可否が決定される。投稿原稿は原則として返却しない。
- 3) 原則として使用言語は日本語とする。特殊な文字ならびに記号の使用については編集室に相談のこと。常用漢字、現代かなづかいを用い8つ以内のキーワード（日英併記）と200語程度の英文要旨を付するものとする。
投稿原稿の長さは、注、引用文献を含め、400字詰め原稿用紙計算で80枚以内を原則とする。なお、上記には図・表・写真を含めないが、特に多数の場合は編集室に相談のこと。
書評は、約4,000字で執筆するものとする。
- 4) 投稿原稿は電子文書とし、e-mailまたは郵送で受け付ける。郵送の場合は、電子文書とともに印刷した原稿を添付すること。
図は、そのまま印刷可能なものに限る。コンピュータで図表を作成した場合は、別ファイルとすること。写真、付図、付表などには希望の挿入箇所、大きさを指定するものとする。
- 5) 掲載された論文等の著作権は原則として京都大学東南アジア地域研究研究所に帰属する。
- 6) 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。ただしカラーの写真や図（内容の理解に必要不可欠なものに限る）については実費を徴収する。別刷りを30部贈呈する。なお、それ以外にもあらかじめ注文があれば実費で製作する。
- 7) 参考文献表記法が当誌ホームページ (<https://kyoto-seas.org/ja/>) に掲げてあるので、投稿希望者は参照されたい。郵送を希望する場合は、編集室に請求のこと。
- 8) 投稿に関する連絡先は次の通り。
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46
京都大学東南アジア地域研究研究所編集室
Tel. 075-753-7344
Fax. 075-753-7356
e-mail: japanese-editorial@cseas.kyoto-u.ac.jp

東南アジア研究 55 巻 2 号

2018 年 1 月 31 日 発行

編集・発行者	京都大学東南アジア地域研究研究所
	〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46
印刷	中西印刷株式会社
	〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

京都大学東南アジア地域研究研究所 CSEAS, Kyoto University, Kyoto Japan

55 巻 2 号

2018/1

インドネシアにおけるパロロ群泳・天体周期と
在来暦法の特徴……………五十嵐 忠 孝

ポルトガル領ティモールにおける 19 世紀後半から 20 世紀初頭の
宣教テキストのテトゥン語訳
——西洋中心主義的「誤訳」と
その社会的・学問的影響——……………土 屋 喜 生

<特集> アブラヤシ農園拡大の政治経済学
——アクター、言説、制度の視点から——

序……………岡 本 正 明・林 田 秀 樹

アグリビジネスのグローバル化とパーム油産業の構造変化
——「パーム油開発先進国」
マレーシアを中心に——……………岩 佐 和 幸

もう一つの油戦争
——不健康なパーム油という言説、
その対抗言説の誕生と発展——……………岡 本 正 明

インドネシアにおける
農園事業許可法令の変遷……………永 田 淳 嗣・小 泉 佑 介

インドネシア共和国における
PIR (Perusahaan Inti Rakyat) 方式の変遷……………河 合 真 之

インドネシア国営アブラヤシ農園におけるプラスマ農園の再植
——西カリマンタン州サンガウ県の事例から——……………林 田 秀 樹

焼畑民によるアブラヤシ農園開発の受容
——インドネシア東カリマンタン州・
ベシ村を事例として——……………寺 内 大 左

ホワイトカラー農民の出現
——タイ南部のアブラヤシ栽培と
人々の生活世界——……………藤 田 渡

分析レポート：
株式会社定款の変遷にみるインドネシアのアブラヤシ農園企業
——20 世紀末までの展開——……………加 納 啓 良

書 評